

2021年度第4回(一社)日本生物物理学会理事会議事録

日時:2022年1月29日(土)13:30~16:30

場所:東京大学(オンライン開催)

出席者:理事総数 19名 出席理事 16名 (代表理事を含む)

代表理事(会長)	野地 博行	理事(副会長)	今田 勝巳
理事(副会長)	佐甲 靖志	理事	相沢 智康
理事	飯野 亮太	理事	片山 耕大
理事	小島 清嗣	理事	古寺 哲幸
理事	杉田 有治	理事	田端 和仁
理事	寺川 剛	理事	永井 健治
理事	南後 恵理子	理事	西坂 崇之
理事	山下 敦子	理事	渡邊 力也

監事:監事総数 2名 出席監事 1名

監事 石森 浩一郎

オブザーバー:

邦文誌編集委員長	上田 昌宏
欧文誌編集委員長	中村 春木
ウェブサイト編集委員長	飯野 亮太(兼任)
2021年度年会委員長	高橋 聡
2022年度年会委員長	金城 政孝
関東支部長	高橋 浩
中部支部長	鈴木 健一

陪席者:

学会事務局 向井 牧子

議長:代表理事(会長) 野地 博行

議事録作成者: 片山 耕大

報告事項:資料番号

1. 2021 年度年会報告(高橋):報 1
2. 2022 年度年会準備状況(金城):報 2
3. 2023 年度年会準備状況(鈴木)
4. 国際関連委員会報告(西坂):報 4
5. 出版委員会報告(佐甲):報 5
6. 2022,23 年度「生物物理」編集委員選任について(佐甲):報 6
7. 男女共同参画・若手支援委員会報告(今田):報 7
8. 生科連運営委員会報告(古寺):報 8
9. 企業支援 WG 報告(小島)
10. 第 45 回日本分子生物学会年会の共催について(永井):報 10
11. 賞・助成金推薦委員会報告(佐甲):報 11
12. 分野別専門委員会の委員交代について (佐甲):報 12
13. 地区報告

その他

審議事項:

1. 2022 年度事業計画(案)(野地):議 1
2. 2022 年度予算(案)(山下):議 2
3. 出版委員会関連議題(佐甲):議 3
4. 男女共同参画・若手支援委員会関連議題(今田)
5. BPPB 論文賞選考委員の選出(野地):議 5
6. 滞納 3 年以上の会員の除籍と会員数の推移について (田端):議 6
7. 終身会員の承認について(野地):議 7
8. 名誉会員推薦について (野地):議 8
9. 2022 年度総会シンポジウムについて(野地)

その他

連絡事項:

1. 次回理事会日程について(野地)

2022 年度第 5 回理事会

日時:2022 年 4 月?

場所:(TV 会議)

定足数の確認:

理事会の審議に先立ち、議長・野地博行氏より定足数の報告があった。

理事総数 19 名のうち、出席者 16 名により過半数を超えた。

報告事項:

1. 2021 年度年会報告(高橋):報 1

高橋聡氏より 2021 年度の年会実施について報告された。

- 実行委員会により年会実施報告書が作成され、これについて説明がなされた。
 - 実行委員の担当役割毎に報告書を作成した。
 - 開催の概要について年会長が執筆し、今後のフィードバック事項について報告された。
 - 参加者登録数および演題登録数が報告された。3 日目の参加者数が大幅に減少した旨が報告された (オンラインの場合は、週末は避けるべきであるとの意見が交わされた)。
 - 収支決算 (仮) について報告がなされ、黒字となった旨が報告された。
 - シンポジウムおよびサテライトシンポジウム開催報告を各オーガナイザー (シンポジウム企画者) が作成した旨が報告された。
 - 参加者からの年会に対するアンケートを実施した旨が報告された。
 - 作成した報告書 (確定版) を生物物理学会あるいは年会の HP に公開したい旨が伝えられ、**理事会にて承認された。**

2. 2022 年度年会準備状況(金城):報 2

金城政孝氏より、2022 年度の年会準備状況について報告された。

- 年会準備状況について (金城氏)
 - 会期は 2022 年 9 月 28 日~30 日、会場は函館アリーナ&函館市民会館 (ハイブリッド開催予定) であることが報告された。
 - 2022 年 1 月 12 日に 年会 HP を開設し、シンポジウム募集を開始した旨が報告された。
 - シンポジウム募集開始に関して菊川氏より補足説明がなされ、理事会メンバーの何人かにも共催シンポジウム依頼を行っている旨が伝えられた。
 - 予算案について現状報告がなされた。予算案に基づいて、ハイブリッド開催が**理事会にて承認された。**
 - 具体的な完全ハイブリッド化の内容について実施案が提示された。

3. 2023 年度年会準備状況(鈴木)

鈴木健一氏より 2023 年度の年会準備状況について報告された。

- 年会準備状況について (鈴木氏)
 - 2021 年 12 月 6 日、実行委員コアメンバー 5 人およびエーイー企画の方で会場 (名古屋国際

会議場) を下見し、部屋の検討などを実施した旨が報告された。

- 2022年3月の中部支部会で実行委員を決定する予定である旨が報告された。

4. 第45回日本分子生物学会年会の共催について(永井):報10(繰上げ報告)

永井健治氏より、第45回日本分子生物学会年会の共催について報告がなされた。

- 共催に関する経緯および準備状況について(永井氏)
 - 2018年に前会長の原田氏、および永井氏宛に大阪大学生命機能研究科・深川氏より一報があり、他学会との連携が目的であった。
 - 2019年に正式な学会連携の覚書がなされた。その中には、第4項、2023年に開催する「国際生物物理会議(IUPAB)(京都)」において、ジョイントシンポジウムの企画および学会協力をを行うことについても取り決めがあった。
 - 年会組織委員も決定され、生物物理学会から樺山氏(大阪大)や須藤氏(岡山大)が加わった。プログラム委員にも、岡田氏(理研)、古寺氏(金沢大)、林氏(東北大)、坂内氏(早稲田大)が加わった。参加費の値上げも決定された。
 - 日本語開催であるが、海外演者も考慮して、講演言語はオーガナイザーに一任する。一方で、活発な英語での質疑応答をサポートするため、PowerPointの英語キャプションの導入を全演題に検討中である。
- 2022年度日本分子生物学会年会に日本生物物理学会が共催することに伴い、生物物理学会員は無償で参加が可能になる。登録システムに際して、生物物理学会員かを判断する必要があり、分子生物学会年会の運営会社に生物物理学会の会員名簿を提供することについて承認して欲しいとの相談があった。
→理事会により承認された。
- 日本生物物理学会年会の登録システムに際して、分子生物学会員の参加資格を認めることを追加して欲しいとの相談があった。
→理事会により承認された。

5. 国際関連委員会報告(西坂):報4

西坂崇之氏より、国際関連委員会について報告がなされた。

- IBC2024-Kyoto 関連について、2021年11月18日に3回目、2022年1月25日に4回目の会議を行い、プログラム編成、教育、会場、登録システム、開催方法などについて議論を行った。次回は3月に会議開催予定である旨が伝えられた。
 - 函館年会で、「IUPAB」シンポジウムを提案したいとの相談があった。
→理事会にて開催が承認された。
- Asian Biophysics Association (ABA) 関連について
 - 2022年6月22-26日(台湾)にて開催の旨が報告された。
 - 日台ジョイントシンポジウムを開催予定である旨が報告された。

- 理事会メンバーから推薦を募りたいとの相談があった。

6. 出版委員会報告(佐甲):報 5

7. 2022,23 年度「生物物理」編集委員選任について(佐甲):報 6

佐甲靖志氏より、出版委員会報告ならびに「生物物理」編集委員会および Web サイト委員会について報告がなされた。

- 上田昌宏新体制が開始した旨が報告された。
- BPPB の出版状況が報告された。
- BPPB Special Issue として、大沢流手づくり統計力学の英訳が開始された旨が報告された。
- JST が構想中のプレプリントサーバーについて、説明がなされた。
- 新任の副編集委員長として須藤氏が決定した。
→理事会で承認された。
- 2022, 23 年度「生物物理」編集委員選任について、前回の理事会以降、候補者 5 名(加藤氏・東大、古賀氏・分子研、坂口氏・埼玉大、藤原氏・長岡技大、日比野氏・遺伝研) 就任依頼を行い、承諾を得た。正式に新編集委員に就任した旨が報告された。

8. 男女共同参画・若手支援委員会報告(今田):報 7

今田勝巳氏より、男女共同参画・若手支援委員会について報告がなされた。

- 2021 年度年会報告について
 - 若手奨励賞は選考委員会により 5 名を選考した旨が報告された。
 - 学生発表賞は計 72 名の審査員により選考した旨が報告された。
 - 男女若手シンポジウムに関する報告がなされた。
 - キャリア支援説明会に関する報告がなされた。
- 2022 年度年会担当の確認を行った旨が報告された。
- 来年、生物物理学会が主担当で開催予定の学協会連絡会シンポジウムについて報告がなされた。
- サブグループ活動について、メカノバイオロジーおよび次世代 NMR ワーキンググループの 2 つの活動に対して補助金を出した旨が報告された。

9. 生科連運営委員会報告(古寺):報 8

古寺哲幸氏より、生科連運営委員会について報告がなされた。

- DORA への署名について、生科連運営委員会により承認された旨が報告された。
- 研究費・人材育成委員会について、他国に比べて日本の研究力の低下が著しいことがデータを交えて報告され、政府(日本学術会議)に提言しようとしている旨が報告された。

10. 企業支援 WG 報告(小島)

小島清嗣氏より、企業支援ワーキンググループについて報告された。

- ワーキンググループ設立の経緯について
 - 2021年12月の企業懇談会の後、会長・副会長の会談の結果、企業が学会に参画しやすくするための課題提出と提案の必要性が浮上した。
 - 小島氏にリーダーシップを取ってワーキンググループを設立して欲しいとの依頼があり、会長直下のタスクフォースとして設立した。
- メンバーは、野地氏、佐甲氏（会長、副会長）、飯野氏、村田氏、小島氏（広告担当理事）、各年次年会関係者（高橋氏・2021年、金城氏、相沢氏・2022年、神取氏、小嶋氏・2023年、永井氏・2024年）、目黒氏（エーイー企画）で構成する旨が報告された。
- 第1回会議（オンライン）を2022年1月27日に開催した旨が報告された。
- 今後の課題点（長期的に年会に参加する企業が少ないなど）について議論した旨が報告された。

11. 賞・助成金推薦委員会報告（佐甲）：報11

佐甲靖志氏により賞・助成金推薦委員会について報告がなされた。

- 谷口氏、南後氏が第18回日本学術振興会賞（南後氏は日本学士院学術奨励賞も受賞）を受賞、柳澤氏が Michèle Auger Award for Young Scientists' Independent Research (2022) を受賞された旨が報告された。
- 安藤氏が第53回内藤記念科学技術振興会賞を受賞された旨が報告された（学会からの推薦）。
- 2022年度山田科学振興財団研究援助について現在メール審議中である旨が報告された。
- 第19回江崎玲於奈賞について現在推薦募集中の旨が報告された。

12. 分野別専門委員会の委員交代について（佐甲）：報12

佐甲靖志氏より分野別専門委員会の委員交代について報告がなされた。

- 「C-26 電子移動・励起移動」委員に新たに浅井智広氏（立命館大）に就任依頼をし、承諾いただいた旨が報告された。
- その他分野の選出者からはすべて承諾をいただいた旨が報告された。
- 初めて外国人の分野別専門委員が選出された旨が報告された。

13. 地区報告

- 関東支部の支部活動について、高橋氏より2022年3月2, 3日に支部会として研究会を開催する旨が報告された。
- 中部支部の支部活動について、鈴木氏より2022年3月17日に支部発表会を開催する旨が報告された。

その他：休憩 12分

審議事項:

1. 2022 年度事業計画(案)(野地):議 1

野地博行氏より、2022 年度事業計画(案)について 6 月の社員総会での確定に向けた確認 1 回目がなされた(最終確認は次回理事会)。

- 「関連学術団体との連携及び協力」欄に日本分子生物学会を追記することを再度打診があった。

2. 2022 年度予算(案)(山下):議 2

山下敦子氏より、2022 年度予算(案)の確認 1 回目がなされた(最終確認は次回理事会)。

- 臨時社員総会にて学生会員の会費を無料することが決定し、予算に反映した。これに伴い、学生会費請求書の送料等が管理費から減額された。
- 2022 年度函館年会は「完全対面」と「ハイブリッド」の 2 つの予算案を提示しているが、「ハイブリッド」開催予算案に修正していく予定となった。

3. 出版委員会関連議題(佐甲):議 3

佐甲靖志氏よりウェブサイト編集委員会の審議事項について説明がなされた。

- ウェブサイト編集委員会規約の改定について、文言の再修正を行った後、提案する予定となった。次回理事会で再度審議することとする。
- 学会著作物の転載許諾について、Web site 記事、内規の改訂提案。営利を目的とする学会著作物の転載・引用に関して、HP 出版物サイト内の記事を改訂し、明記する。また、これに伴い、「生物物理」投稿規定の改定も提案する。
→理事会にて承認された。

4. BPPB 論文賞選考委員の選出(野地):議 5

野地博行氏より、BPPB 論文賞選考委員の選出に関する審議がなされた。

- 第 11 回(2022) BPPB 論文賞選考委員を追加 4 名選出する必要がある。尚、議題資料において以下訂正あり。(向井氏)

決定(役職による就任):今田勝巳氏→佐甲靖志氏

選出方法について基づいて、以下 2 名の方に継続して就任してもらう。

飯野亮太氏、Florence Tama 氏

追加で 2 名選出する必要がある。

→役職指定の委員（野地氏、中村氏、佐甲氏）がメールなどで追加 2 名を推薦する。

→理事会にて上記方針で承認された。

5. 滞納 3 年以上の会員の除籍と会員数の推移について（田端）：議 6

田端和仁氏より、会員数の推移および滞納 3 年以上の会員の除籍について審議された。

→理事会メンバーおよびその周辺で声掛けを行い支払あるいは退会を促す方針となった。

6. 終身会員の承認について（野地）：議 7

- 野地博行氏より、終身会員の承認について発議があり、審議の結果、申請者 2 名の終身会員への会員種別変更が承認された。

7. 名誉会員推薦について（野地）：議 8

野地博行氏より、名誉会員推薦についてアナウンスされた。

- 名誉会員の推薦がある場合は、次回理事会までに事務局へ連絡する。尚、本アナウンスは理事会に対してのみならず、会員全員に対してのものとする。
- 2022 年度から功労会員制が開始されることに伴い、推薦がある場合、名誉会員同様、次回理事会までに事務局へ連絡する。

8. 2022 年度総会シンポジウムについて（野地）

野地博行氏より 2022 年度総会シンポジウムについて意見交換がなされた。

- 2022 年度総会シンポジウムを引き続き田端氏がオーガナイザーとする。シンポジウムのスピーカー推薦候補として会長より以下 2 名が提案された。
 - 内藤記念科学技術振興会賞を受賞された安藤氏に依頼する。
 - 企業との関係を深めるためのワーキンググループ関連でシンポジウムを企画する。

連絡事項：

野地氏より、次回理事会は4月に開催予定の旨の連絡があった。

その他の発議を求めたところ、格別なしと認められたので、議長は 16:30 に閉会を宣言して散会した。

上記の議決を明確にするため、定款第六章第三十三条の規定によりこの議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名押印する。

2022 年 1 月 29 日

一般社団法人 日本生物物理学会 2021 年度第 4 理事会

代表理事 野地 博行 (印)

監事 石森 浩一郎 (印)